

■第39回 全国障害者技能競技大会(アビリンピック)の結果報告

「ビルクリーニング」競技で藤井優気選手が『銀賞』を獲得！！ ～第39回全国アビリンピックで京都府代表が健闘～

第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)が11月15日(金)から17日(日)までの3日間、愛知県常滑市(中部国際空港に隣接の愛知県国際展示場)で開催され、23種目に全国から選抜された382人の選手が技能を競い合いました。

今回は天皇陛下の御即位に伴う慶祝行事の一つとして、また第57回技能五輪全国大会との同時開催となりました。

京都府からも9種目の競技に9名の選手が派遣され、日頃培った技能を大いに発揮し、「ビルクリーニング」種目では京都市立鳴滝総合支援学校の藤井優気選手が参加46名の中で、見事銀賞を獲得しました。

■アビリンピックとは

アビリンピックは、障害のある方々が日頃職場などで培った技能を競う大会です。障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

■各選手の競技模様をご紹介します。京都府代表選手の皆さんが真剣に競技に取り組んでいる姿を臨場感をもって感じていただければ幸いです。

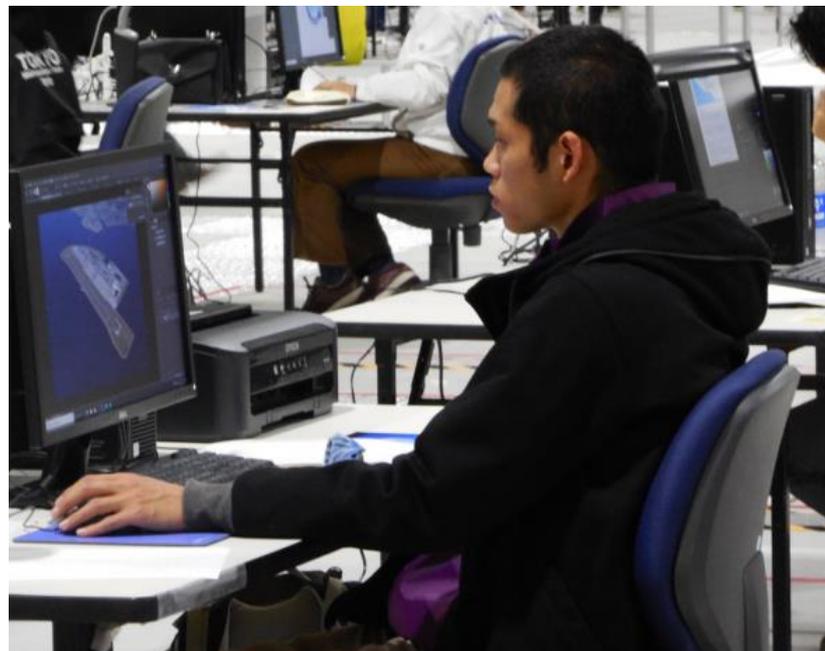
会場・開会式のひとコマ



■DTP | 迫 光優選手

DTPは「DeskTop Publishing」の略で、出版物や印刷物の原稿作成や編集、デザイン、レイアウト、組版などの作業をコンピュータで行い、最終的に印刷可能な原稿(版下)の作成まで行うこと。競技課題は、中部国際空港「セントレア」の利用向上を目的としたキャンペーンの「シンボルマーク」と「PRポスター」の制作で、3時間以内で競いました。

今回の出場選手は18名。迫選手は終始集中して課題に取り組んでいました。



■電子機器組立 | 奥石 拓斗選手

競技課題は、夜間などの暗がりでの動きに反応する「省エネコントローラーの組み立て」で、競技時間は4時間(4時間30分打切)。

今回の出場選手は、12名。

奥石選手は、回路基板に抵抗やコンデンサーなどの電子部品をはんだ付けで接続するなどの細かい作業を時間をフルに使って手際よく行っていました。

また、「努力の成果を見せてこい！」などの職場メンバーからの応援メッセージが寄せ書きされた横断幕を机の前に飾り、多くの仲間の激励を胸に、熱心かつ丁寧に課題に取り組んでいました。



■ビルクリーニング | 藤井 優気選手

競技課題は、クリーニングの基本作業である「カーペットの床清掃(7分以内)」と「弾性床の清掃(10分以内)」の2種類で、挨拶から始まり作業の効率性や正確性を競いました。今回の出場は、全競技の中で最多の46名。

藤井選手は、ひときわ機敏で無駄のない動きで掃き残りや拭きムラのない作業を行い、惜しくも金賞には届かなかったものの、銀賞の栄冠を獲得しました。



■喫茶サービス | 森口 元貴選手

競技課題は、会場に設けられた模擬喫茶店で、来店されたお客様に対して接客サービスを提供すること。ウェイター、ウエイトレスとして他の従業員と連携・協力しながらお客様の立場に立って、正確かつスムーズにサービスを提供するスキルを競います。競技時間は全体として6時間ですが、一人あたりは60分程度で3回の接客を行いました。

今回の出場者は、43名。

森口選手は、お客様の迎え入れや注文を受け、提供するなどの全ての場面で他の競技者と協力しながら、落ち着いてサービスを提供していました。



■オフィスアシスタント | 加地 剛拓選手

送付書類のピックアップ、文書の封入などの「文書発送準備作業」と、「郵便物仕分け作業」で、それぞれの作業における数量や仕上がり状況、作業の正確さを競いました。競技時間は120分以内。

今回の出場選手は、40名。

加地選手は、作業の一つ一つの内容を確認し、真剣にかつ丁寧に効率良く課題に取り組んでいました。



■表計算 | 中島 諒祐選手

競技課題は、「表の装飾・編集」、「関数式による表の作成」、「データ処理」及び「グラフ作成」で、競技時間は75分。表計算ソフトMicrosoft Office Excel 2016を使いExcelの三大機能である、表計算機能、簡易データベース機能、グラフ作成機能の総合的なスキルを競いました。

今回の出場選手は、31名。

中島選手は、職場メンバーからの応援メッセージが寄せ書きされた横断幕を机の前に飾り、仲間の期待を胸に課題に取り組み、各作業をスピーディーに行っていました。



■パソコン操作 | 田中 秀樹選手

競技課題は3課題。Microsoft Excel 2010を使用して「Excelのデータから適切な関数を用いて、データを抽出・加工する」、「Excelのデータをピボットテーブルやグラフを作成してまとめる」、また「インターネット検索を利用して、指示された事項を調べ、その内容を記述する」もの。全員が視覚障害のある選手による競技種目で、画面の文字を音声化するソフトや画像を大きく拡大するソフトを利用しながら、キー入力によってパソコンを操作しました。競技時間は100分。

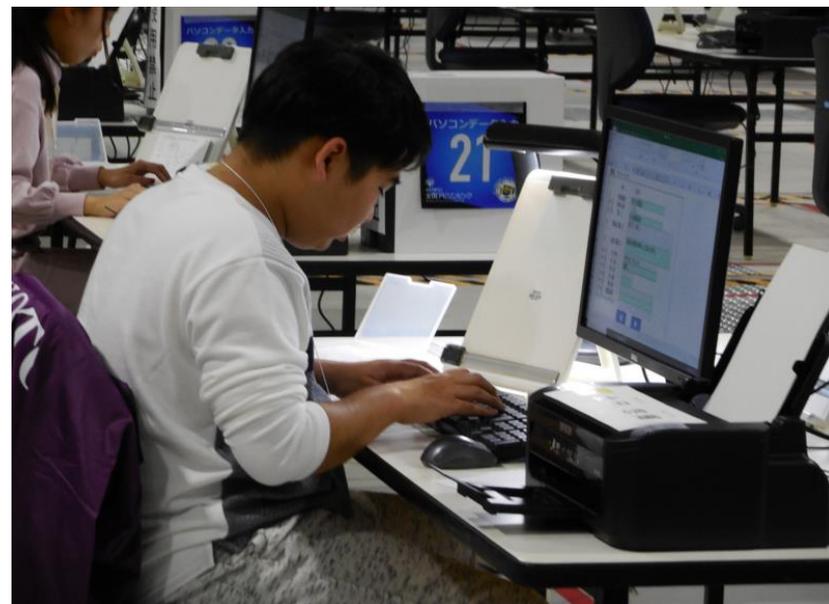
今回の出場者は、11名。

田中選手は、終始落ち着いて真剣に課題に取り組んでいました。



■パソコンデータ入力 | 金田 悠輝選手

競技課題は、「アンケートはがきの入力」、「ワープロ文書の修正」及び「帳票の作成」で、競技時間はそれぞれ30分。データ入力・修正等の速さと正確さを競いました。「アンケートはがきの入力」では、いかにミスなく多くのアンケートはがきを入力できるか、「ワープロ文書の修正」では、いかに早くミスを発見して正確に修正できるか、「帳票の作成」では文字・数字の入力だけでなく、数式や書式設定も使って体裁の整った帳票を作成できるかを競うもので、今回の出場者は34名。金田選手は、応援に駆け付けた会社の方が見守るなかで、集中して課題に取り組んでいました。



■縫製 | 浅田 美咲選手

競技課題は、「エプロンの縫製」で、競技時間は4時間以内。配られた9枚のパーツをミシン、アイロン、はさみ、目打ちなどの道具を使用して製作しました。各パーツの仕上がり寸法の正確さ、アイロンとミシンの技法、完成品の出来栄などを競うもので、今回の出場選手は、16名。

浅田選手は、応援者が見守る中、各工程での製作に熱心に取り組んでいました。



2020年2月1日(土)にアビリンピック「京都大会」が開催されます

多くの皆さんに、見学・応援をお願いします！

以上、第39回全国障害者技能競技大会(アビリンピック)での京都府代表選手の活躍をご紹介しましたが、会場の熱気は伝わりましたでしょうか？少しでもご関心をお持ちいただけたのであれば嬉しく思います。

さて、全国大会の予選大会も兼ねた「第17回アビリンピック京都大会」が、2020(令和2)年2月1日(土)に、京都府立京都障害者高等技術専門校を会場に開催されます。

具体的に障害者雇用を検討されている企業の皆様には、各種競技に懸命に取り組む障害のある方々の頑張りを直接見ていただくことで、その可能性の大きさを実感いただき、自社での雇用をイメージしていただく絶好の機会かと思えます。

また、障害のある方々の社会参画に関心をお持ちの皆様にも見学・応援いただくことで、出場選手の大きな励みになると思えますので、是非多くの方々の見学・応援をお願いします。

働いている障害のある方の高い技能や
支援学校等の生徒の学習成果を是非ご覧ください

第17回 アビリンピック 京都大会

～自分への挑戦～

入場無料

開催日時
令和2年2月1日(土)
9時30分～16時00分

会場 京都府立京都高等技術専門校
京都府立京都障害者高等技術専門校
京都市伏見区竹田流地町 121-3

京都市営地下鉄 くないな橋駅すぐ
会場には地下鉄や市人交など最寄りの
公共交通機関を利用してご確認ください。

開会式 9時30分～10時00分

競技種目(13種目)	10時15分～14時00分	障害者雇用セミナー	13時30分～14時45分
<ul style="list-style-type: none">●DTP●ワード・プロセッサ●表計算●ホームページ作成●ビルクリーニング●喫茶サービス	<ul style="list-style-type: none">●パソコンデータ入力●縫製●紙箱組立(貼り箱)●販売実務●パソコン操作●オフィスアシスタント●電子機器組立	<p>テーマ「障害のある方が継続して働ける就労支援」</p> <p>講演 障害のある方に合わせた仕事の切り出しと 障害のある方と共に働く職場の在り方</p> <p>京都ダイハツ販売株式会社 総務部 総務室 室長 中川 佳久氏</p> <p>区障法人博友会 就労支援センター アステックむらまち 峰部 香花氏</p> <p>意見交換</p> <p>主催：京都市</p>	

表彰式・閉会式 15時00分～16時00分

お問い合わせ [アビリンピック全般] アビリンピック大会事務局 TEL.075-951-7481

主催：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部 京都市
後援：京都労働局 ハローワーク(公共職業安定所) 京都市 京都府教育委員会
京都市教育委員会 京都府高齢・障害者雇用支援協会 公益社団法人京都ビルメンテナンス協会

●京都新聞 ●京都放送局

協賛：
要護院ハツ橋本店 SHIMADZU 小川蘭井 ミライ電子工業株式会社 Agri 株式会社アグティ
鎌通株式会社 SHIMADZU 京都生活協同組合 創造美 ぎらめき 山田本工所
社会福祉法人 京都老人福祉協会 株式会社正智フードサービス 株式会社正智ハートフル(特例子会社) 三幸会 山田本工所
近畿ビル管理株式会社 社会福祉法人 洛東園

アビリンピック 京都 検索 <http://www.jeed.or.jp/location/shibu/kyoto/abilymp17.html>

編集後記



選手一人ひとりが各課題に真剣に取り組んでいる姿に感動しました。
職場などからも多くの方が応援に駆け付け、熱い声援と温かい視線を送る雰囲気にも圧倒されました。

大会本番で発揮された技能は一朝一夕で修得できるものではなく、本人の日頃の努力はもとより、職場や家庭など多くの方の支援の中で培われてきたものです。

さすがに全国大会だけあってレベルの高さは実感しましたが、自らの技能を積極的に高めようという意欲の高い障害のある方々に、チャレンジし、成長する機会を提供することの意義・大切さと、それをみんなで支援する重要性をあらためて実感できた大会でした。

2月1日(土)に開催予定の京都大会にも、多くの応援を期待しています。(S&G)



アビリンピック2019イメージキャラクター